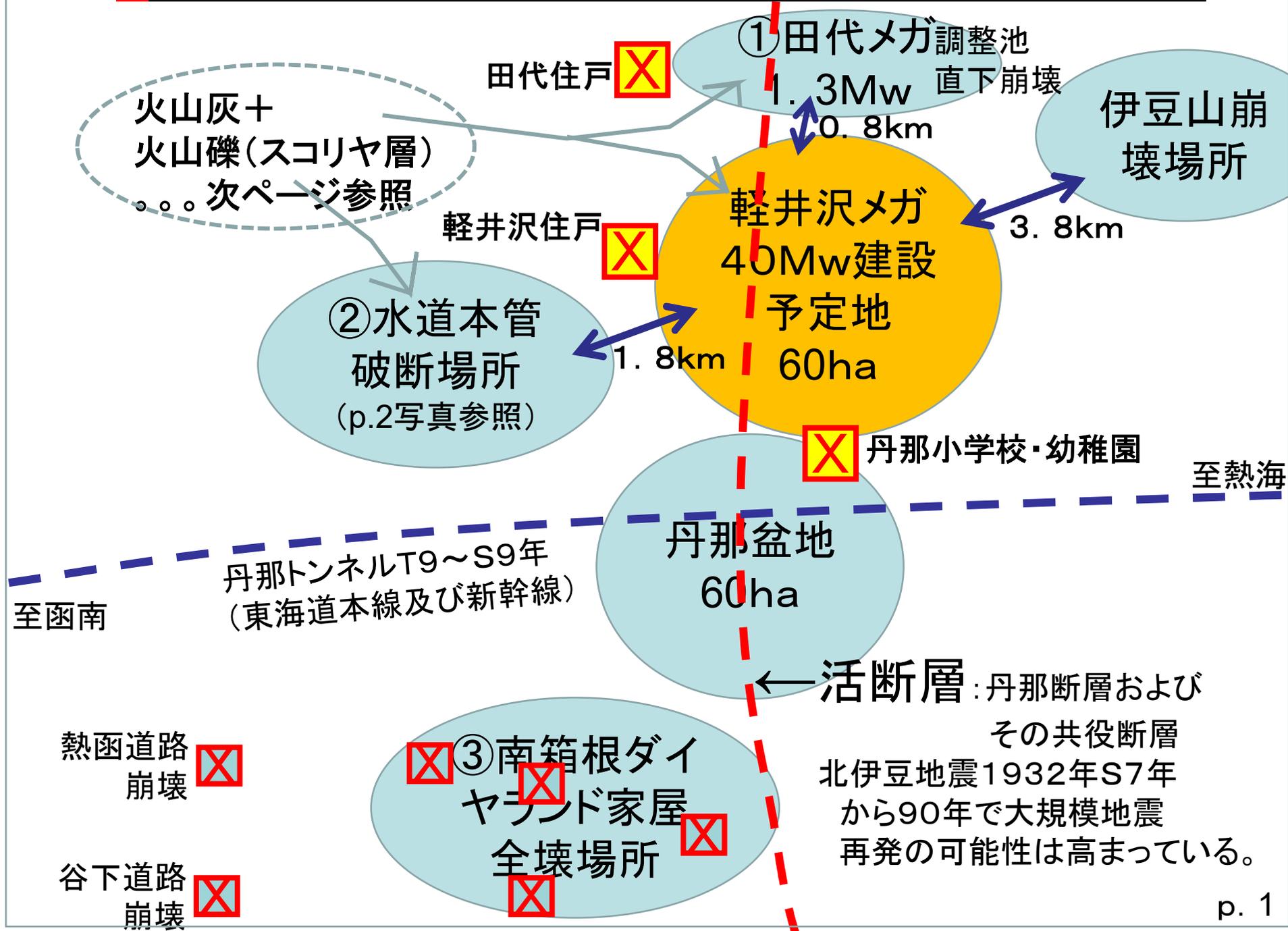
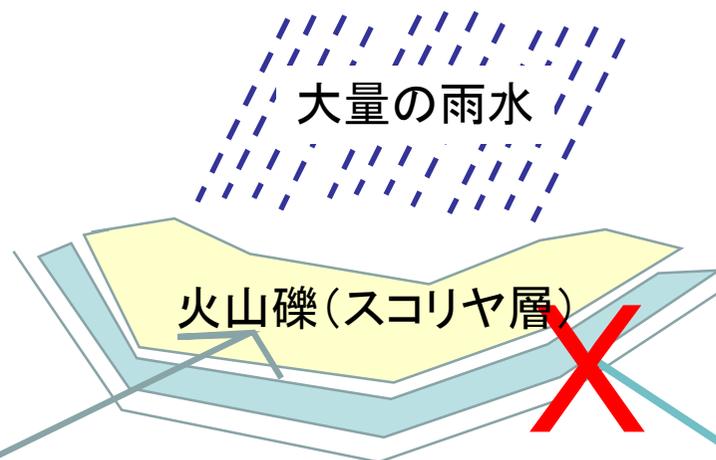


・ 2022年1月13日に県生活環境課殿に示した図面および説明。 作成:古村 高



数万年前に多賀山系の火山噴火で形成された
伊豆半島特有の地形



凹凸のある山間地で土砂崩壊X誘発

火山灰がお椀のようになり
その上のスコリヤ層に大量の
雨水がたまり、限度を超えると
崩壊する。今後地球温暖化で大量の雨水を含む
台風、豪雨が多くなり土砂崩壊の可能性も高まっている。
前ページp.1の①と②(右の写真)にスコリヤ層が観測される。

台風19号関連 photo情報:

<https://photos.app.goo.gl/ooSrSJ4iicVxjcMf7>

短縮: <https://bit.ly/3rHPPD7>



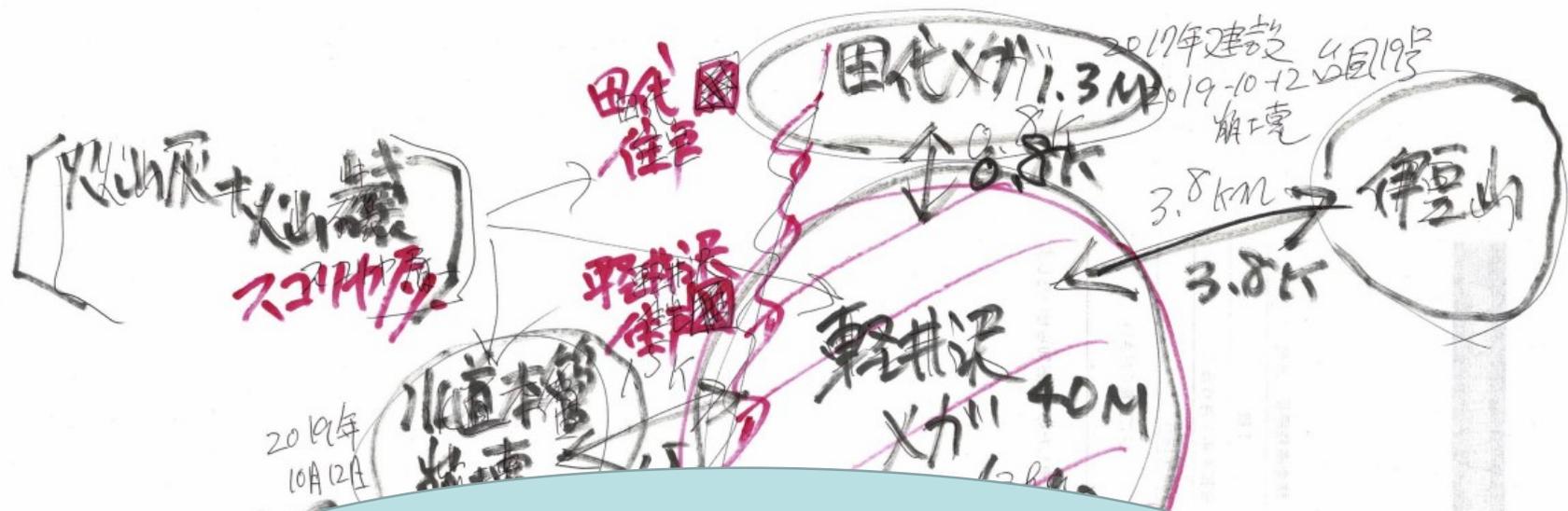
QRA



2019年10月の県水道本管崩壊場所での
スコリヤ層(黄色の地層)崩壊状況 p. 2

要点の説明:

1. 軽井沢メガソーラーは丹那盆地60haとほぼ同じ大きさの巨大なメガソーラーである。
2. 同地は① 2019年10月12日の台風19号の豪風雨で崩壊した田代メガソーラー（1.3MW,2017年から稼働）調整池直下から0.8km南に位置する。② 同崩壊した県水：駿豆水道本管直径90cm破断場所から北東に1.8kmに位置する。③ 同全壊被害他が発生した南箱根ダイヤモンド住宅地の北3kmに位置する。
3. 2021年7月4日の集中豪雨で崩壊した伊豆山崩壊地区から西に3.8kmに位置する。
4. 田代メガ、軽井沢メガ（予定地）の西側直近に田代住戸、軽井沢住戸、また南側には丹那小学校、幼稚園が近接する。
5. これらの地区の真下には活断層である丹那断層、および関連する共役断層がある。
* 1932年、昭和7年の北伊豆地震で丹那盆地真下に掘削されていた丹那トンネルでは大きな鏡面断層が発生し、また多くの富士山伏流水の流れが変わり、丹那盆地の湧き水が止まり、丹那住民に大きな悪影響を与えた。（同時に熱海地区には新たな湧き水や温泉が湧き好影響となった。）
* この北伊豆地震の後に東大地震研究所が詳細な調査を行ったが、北伊豆地震レベルの地震は100年～200年に一度起こるとの調査結果であった。2022年ですでに90年たっており、地震再発の可能性は高まっている。
6. これらのエリアは伊豆半島が形成された多賀山系の噴火時の火山灰と火山礫（スコリヤ層）の地層エリアであり、大量の雨水がたまったときに大きな土砂崩壊の可能性がある。上記①および②では明確にスコリヤ層が確認されている。（p. 2参照）



2022年1月13日に環境アセス担当部門
 である静岡県生活環境課殿に
 手書きで示した図面

